

◎平成27年度地方創生加速化交付金（繰越）のKPI検証について

<実施計画>

地域とNPO・行政が連携した地域創生事業

～小学校跡地を活用した、子ども若者支援を中心に～

◆実施計画のKPI

KPI	本事業開始時 (平成28年4月)	本事業終了時 (平成29年3月)	数年後 (平成32年3月)
①伏尾台地域の人口(人)	5,412	5,434	5,500
②伏尾台地域の老年人口の割合(%)	36.92	41.74	40.00

◆実施計画のKPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

伏尾台創生会議にてKPIの達成度を検証し、同会議にて事業の見直しについて検討し、検証後、速やかに池田市HPで公表。(平成29年3月)

<検証結果>

◆KPI(実績)

KPI	本事業開始時 (平成28年4月)	本事業終了時 (平成29年3月)	実施計画との増減 (開始前との増減)
①伏尾台地域の人口(人)	5,412	5,382	52減少 (30減少)
②伏尾台地域の老年人口の割合(%)	36.92	38.48	3.26減少 (1.56増加)

◆KPI検証方法・KPI検証結果の公表方法

平成29年5月28日の伏尾台創生会議にてKPIの達成度を報告、検証した。検証結果については、池田市HPで公表。

◆検証時の意見等

- ・今後も伏尾台創生会議で実施して良かったと思える事業をしていきたい。
- ・高齢者を減らすのではなく、高齢者が増えても良い。高齢者も住みやすいまちになれば、子どもも帰ってくる。
- ・人が移動する場合は、世帯ごと動くのだから、人口に加えて世帯数にも着眼

するのが良いのでは。

- ・伏尾台は環境が良く、地域が活性化しているので、高齢者が喜んでくれるまちにしたい。

- ・「子育てしやすいまち」になることを通じて、子どもから高齢者まで全ての人々が住みやすいまちになればいい。

- ・ほそごう学園がコミュニティスクールになったので、伏尾台全体で伏尾台のことを考えていけたらいい。

- ・全国的に人口は減少していくものであるもので、増加することは難しいが、人口の減少をどう食い止めるかが重要。住んでいる住民がいかに住みやすいまちになるか。

- ・今後、伏尾台では利便性の問題で高齢者にとって住みにくくなることが課題と認識しているので、そこをどうクリアしていくか今後検討していく。